

2022年 8 月 10日

各 位

会 社 名 株式会社ポピンズ  
 代表者名 代 表 取 締 役 社 長 轟 麻 衣 子  
 (コード番号 7358 東証プライム)  
 問合せ先 取締役専務執行役員管理本部長 田中 博文  
 (TEL. 03-6625-2753)

## 2022年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、新型コロナウイルス感染症の影響による最近の事業動向の変化を踏まえ、2022年2月8日に公表した2022年12月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2022年12月期通期連結業績予想の修正 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 26,000	百万円 1,600	百万円 1,620	百万円 1,050	円 銭 108.28
今回修正予想 (B)	26,000	1,300～1,500	1,330～1,530	870～1,010	89.72～104.15
増減額 (B-A)	-	△300～△100	△290～△90	△180～△40	
増減率 (%)	-	△18.8～△6.3	△17.9～△5.6	△17.1～△3.8	
(ご参考) 前期連結実績	24,749	1,519	1,611	966	99.70

#### 2. 修正の理由

売上高は前回発表の数値を据え置き、営業利益、経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益を修正いたします。今後の感染状況が不透明であることから、レンジ形式により開示しております。

##### (1) エデュケア事業における「さらなる預け控え」と「非常時における運営体制構築」

当年4月、昨年を上回る水準の預け控えが全般的に生じました。このような中、当社東京都の認可保育所においては、低年齢児の4月時点の入所率は前年比で改善したものの、当初の想定を下回る結果となりました。5月以降の新規入園者は前年同月を上回るペースで増加傾向にありますが、通期での入所率については当初計画水準を下回る見込みとなりました。

また、保育士等のコロナ感染増加に伴う負荷改善のため、非常勤職員の加配置を行い、エッセンシャルサービスの提供を止めないための緊急的な体制づくりを行ったことが、変動人件費の増加と営業利益の減少に繋がりました。ウィズコロナ時代の波を踏まえて、7月からの新たな事業経営体制の下、国・自治体との連携を強化しつつ、園の運営を適正に管理して参ります。

##### (2) ファミリーケア事業におけるセールスマックスの変化

積極的な広告出稿と採用活動を実施しているベビーシッターサービスは、当初の見込みを超えた売上拡大が継続しており、シルバーケアサービスについても、想定通り推移しております。

一方、比較的利益率の高いナニーサービスは、感染症拡大の影響を受けやすく、売上拡大基調が継続しているものの、期初想定した水準に比べ緩やかになっております。

以上を踏まえ、同事業の売上高については当初想定した水準を上回ることを想定しておりますがセールスマックスの変化により、営業利益については当初計画水準を下回る見込みとなりました。

#### 3. 配当予想

配当予想の変更はありません。

以上